

事業の概要(施設)

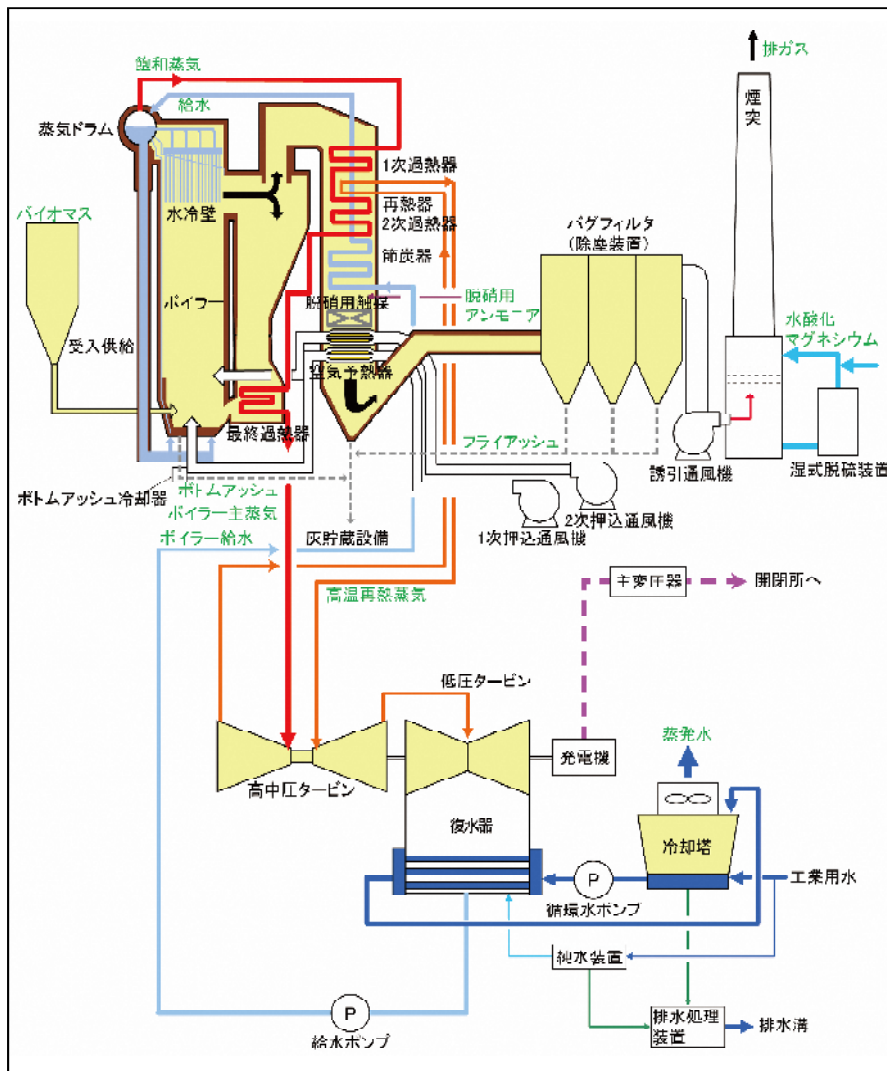
本事業は、発電端出力75,000kWのバイオマス発電施設を設置するものです。

施設から出る排ガス及び排水は、下表に示す処理設備を設置することにより、周辺の環境に影響を及ぼさないようにいたします。

バイオマスは、木質ペレット、木質チップを使用します。これらは、ベトナム、スリランカ、インドネシア等から輸入する計画です。海上輸送により響灘南埠頭で陸揚げし、バイオマス燃料集配基地で一旦保管されます。これを発電所まで陸上輸送します。陸上輸送時の交通量は、積載容量20m³のトラック11台で1日113往復を計画しています。

▼発電設備の概要

事業の名称		響バイオマス発電所整備事業
事業実施区域の所在地		北九州市若松区響町2丁目
原動力の種類		汽力
ボイラーの種類		循環流動層ボイラー (CFB)
発電端出力		75,000 kW
発電用燃料		バイオマス (木質ペレット、木質チップ)
煙突形状	頂部内径	3.4 m
	地上高	80 m
排ガス	湿りガス量	391,000 m ³ _N /h
	乾きガス量	300,000 m ³ _N /h
	設計酸素濃度	4%Dry
	硫黄酸化物	19 ppm (酸素 6%換算値)
	窒素酸化物	40 ppm (酸素6%換算値)
	ばいじん	10 mg/m ³ _N (酸素6%換算値)
排水	排水量	3,515 m ³ /日
	pH	6～9
	SS	25mg/L以下
	COD	10 mg/L以下 (日平均)
	T-N	10 mg/L以下 (日平均)
	T-P	1mg/L以下 (日平均)
排ガス 処理設備	脱硫設備	湿式脱硫方式 (水酸化マグネシウム)
	脱硝設備	乾式アンモニア触媒還元方式
	集塵設備	バグフィルター方式
排水 処理設備	中和設備	塩酸・水酸化ナトリウム添加方式
	凝集沈殿設備	高分子凝集剤添加方式
	ろ過設備	砂ろ過方式



▲発電系統図

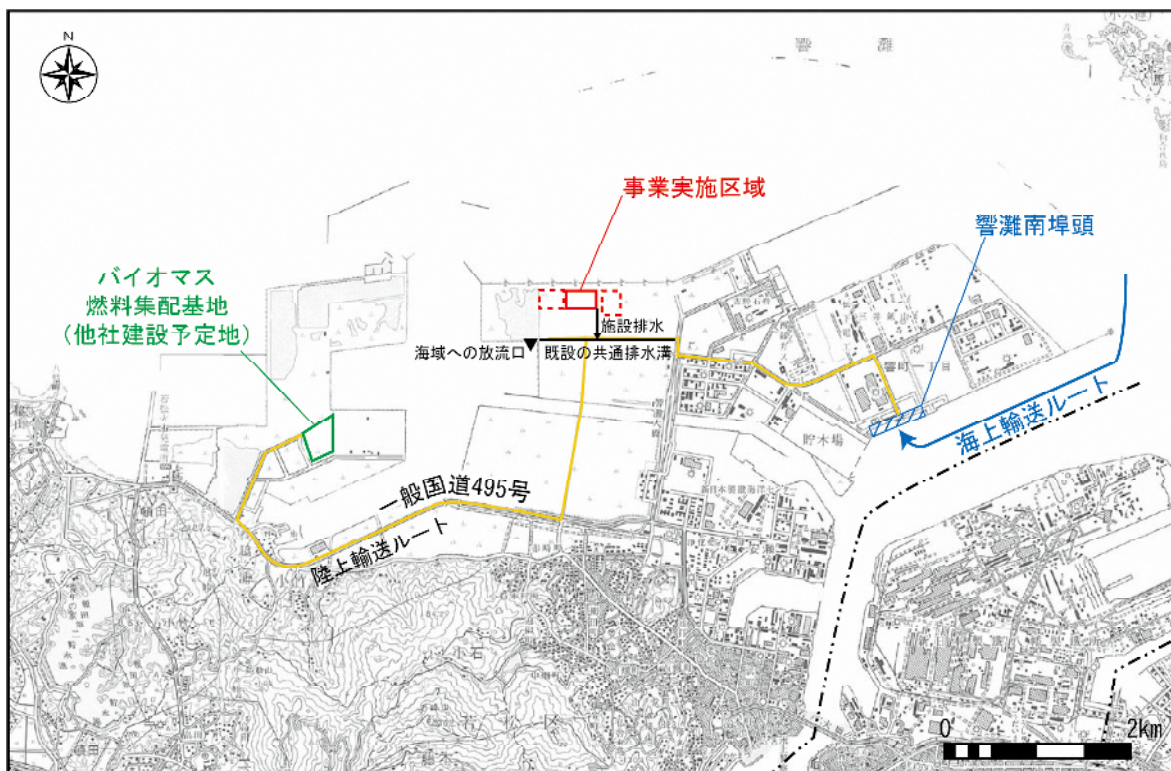


木質ペレット



木質チップ

▲使用するバイオマス燃料



▲燃料の輸送ルートと排水位置